請　願　文　書　表

（令和５年１１月１７日
第４回市議会定例会）

受理番号	請願第２号
受理年月日	令和５年１０月２７日
件　　名	すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願
請願の要旨	・教育予算を増やし、教育費の保護者負担を減らすこと。 ・子供たちの学びの充実のために、教職員を増やすこと。 ・特別な支援を必要とする全ての子供たちに、行き届いた教育を保障すること。 ・子供たちに豊かな放課後を保障すること。
紹介議員	酒井豊実、北島定、小黒啓子
請願者の住所、氏名	[redacted] 子どもと教育を考える浜松市民会議 代表者　小笠原　里夏　　ほか２６５６人
付託委員会	市民文教委員会

令和５年１０月２７日

浜松市議会議長　戸田　誠　様



請願代表者
住　所 [redacted]
氏　名　子どもと教育を考える浜松市民 [redacted]
代表者　小笠原　里美
外 ~~2166~~ 2656 筆

すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

紹介議員　酒井豊実 [redacted]　北島　定 [redacted]　小黒啓子 [redacted]

【請願趣旨】

子どもたちが人間として大切にされ、憲法と子どもの権利条約が生きて輝く学校をつくることがすべての父母・保護者・市民の願いです。しかし、近年の世界情勢の悪化や急激な円安、物価急騰により保護者や市民の生活が圧迫されています。その中で、不登校や自殺の増加など、子どもたちの心の中に大きな不安が広がっています。新型コロナウイルス感染拡大を防ぎ、子どもたちのいのちと健康を守ることを第一とし、どの子にもゆきとどいた教育を保障するために、以下のことを請願します。

【請願項目】

１．教育予算を増やし、教育費の保護者負担を減らしてください。
　①　食育の一環として、また、子育て支援の観点から、給食費無償化を実施してください。
　②　就学援助制度の認定基準の緩和、支給費目の拡大をしてください。

２．子どもたちの学びの充実のために、教職員を増やしてください。
　①　小・中学校全学年で、「はままつ式３０人学級編制」を実施してください。
　②　静岡県や静岡市と同じように、「１クラス２５人以上」の条件を撤廃してください。

３．特別な支援を必要とするすべての子どもたちに、ゆきとどいた教育を保障してください。
　①　発達支援学級の定数を８人から６人にしてください。
　②　発達支援学級、通級指導教室、校内適応指導教室を拡充し、特別な支援を必要とする子どもたちの学びを保障してください。

４．子どもたちに豊かな放課後を保障してください。
　①　希望する子どもたちが小学校６年生まで入会できるように、学童保育（放課後児童会）を拡充してください。
　②　学童保育（放課後児童会）の保護者負担金を軽減してください。